

2023年度

全国高校野球OBクラブ連合理事会・マスターズ甲子園2023実行委員会（第1回）

日 時：2023年4月22日（月） 20：00～ 22：30

場 所：神戸大学国際人間科学部・事務局よりオンライン会議

出 席（理事・監事）：戒能、前崎、高山、小川、北野、長ヶ原

欠 席（理事）：宝槻

出 席（実行委員）：戒能、前崎、高山、小川、北野、小菌、杉山、小林、浪花、
彦次、谷、菌田、松村、青山、松崎、長ヶ原

欠 席（実行委員）：宝槻、岡田

事務局：乾、三浦、山下、塩川

議 題：

1. マスターズ甲子園2023（第20回）の準備状況について
 - 資料1）：マスターズ甲子園2023本大会概要
 - 資料2）：全国高校野球OBクラブ連合加盟校・予選大会登録校一覧
 - 資料3）：マスターズ甲子園予選大会・全国高校野球OBトーナメント
 - 資料4）：全国高校野球OBトーナメント試合規則
 - 資料5）：ブロック大会出場OB校送付用カバーレター（関東ブロック送付用）
2. 今後の準備計画について
 - 資料6）：ブロック大会・東日本・西日本大会PR計画（案）
3. その他

議事録

20：05 より長ヶ原理事長（以下、理事長と称す）の挨拶と次第内容および出欠者の確認により開会

議題1）マスターズ甲子園2023（第20回）の準備状況について

理事長より資料1に基づき、マスターズ甲子園2023（第20回記念大会）の代表OB校・各種プログラムについて説明された。各種プログラムの説明において、今大会では大会2日目に全国高校野球OBトーナメント3試合を実施すること、それに伴い甲子園キャッチボールは大会1日目のみ実施になることについて報告された。合わせて、各理事より本大会出場が決定しているOB校や各リーグ及びブロックでの準備状況について報告された。

理事長より資料2に基づき、全国高校野球OBクラブ連合の加盟OB校と全国高校野球OBトーナメント登録校の状況について説明された。これらより、トーナメントの規模について

は、10年前の10回記念大会では19リーグ351校の参加であったが、今回の20回記念大会は加盟715校中33リーグ627校が参加予定であることが確認された。

理事長より資料3に基づき、各リーグの予選大会からブロック大会以降のトーナメント大会の流れについて説明された。次に各理事より、準備状況や進捗の報告が添えられた。高山理事より、関東ブロック会議の予定を中心に近隣都県リーグとの連携・連絡状況について報告された。

小川理事より、北信越・東海ブロック大会に向けてZoom会議を開催し、今後さらに内容を詰めていくために再度会議の機会を持つ予定があると報告された。

北野監事、戒能理事、前崎理事より、ブロック大会までに各ブロック会議を開催予定であることが報告された。

さらに高山理事より、東日本大会について、前夜祭開催（開催時は横浜市内ホテルを予定）や球場までの移動方法の配慮について相談があった。主に試合順などについては、第10回記念大会時の状況も踏まえながら調整することが確認された。

理事長より資料4に基づき、全国高校野球OBトーナメント試合規則ルールが説明された。まず、出場選手について、大学野球、社会人野球の退部選手の扱いに関して、各団体組織との混乱を避けるためにも、①の2)③「大学野球、社会人野球の選手で退部した場合には、その次年度からの出場を可とする。」を新たに追記することが報告された。高山理事より、以前にあった事例を挙げながら出場選手の明文化に至るまでの経緯が説明され、理事長からも該当選手は翌年度からの参加とすることで想定される懸念を避けることができることが説明された。これにより、本件の追記に関しては承認された。さらに、各リーグでの試合もこの規則に基づいた運営を周知することで一致した。

さらに、理事長より、ブロック大会から使用できる新しい承認バットの準備を進めている旨が報告された。また、ブロック大会に間に合わない場合は、これまでの承認バットの使用を認めることが確認された。また、承認バット以外のバット使用や規則を外れる用具の使用に関して不測の事態が起こらないようにするために各運営でも十分留意が必要であることが確認された。小川理事より、試合時にベンチ付きスタッフの配置などによる対応が提案され、そのような試合運営体制を敷いていくことで一致した。

また、これまで明文化されていなかった女性選手の出場に関する共通理解について、体力差やそれに伴う安全性の面からも、③2)に「女性選手については、年齢に関わらず35歳以上のチームで登録する。」と新たに追記することが確認された。この文章に関しては本大会規則にも追記することが承認された。

また、先発投手が指名打者を兼ねていた場合、マウンドを降りたあとも打者としてそのまま試合に出場できる、いわゆる「大谷ルール」に関しては、野球規則の変更に基づくものであるため、認められることが確認された。

北野監事より、規則違反が起こった場合の対応方法について確認された。基本的には没収試合になるような事態を避ける中で、戒能理事より、「イニングを超えて指摘がなかった場合は対処しない」とする（故意によるものではない、両チームともお互いにチェックができていないという理由から）などの対応について、過去の事例を挙げながら説明された。各ブロック大会運営にかかわる部分で今後に向けて共通認識を持てるようにすることで一致した。

理事長より資料5に基づき、ブロック大会に出場が決定したOB校に対する案内や必要な準備内容について説明された。

議題2) 今後の準備計画について

彦次副実行委員長より、これまでの20回大会メディアPRの委員会開催とPR資料6に基づき、ブロック大会・東日本・西日本大会PR計画（案）について説明された。各ブロックへの情報提供を依頼しながら、大会各公式SNSを利用して大会前告知および大会結果報告の発信をしていく計画について説明された。過去反響のあった取組である「マスターズ甲子園カード（仮称）の復刻」について、進捗状況を説明した後、5月連休明けからの募集スタートを予定している旨が報告された。合わせて理事長より、小菌委員からの関東ブロック大会へのバックアップと朝日新聞特集記事に関わる本大会PR支援について紹介された。また、杉山実行委員よりメディア対応体制、メディアへのPRやリリースの必要性について指摘があり、理事長より状況に応じて本大会に準じた対応をベースに考えていくことが確認された。各ブロック幹事は各大会PR担当者を決定し、本事務局との連携作業を通じて各大会のPR活動を進めていくことが確認された。

議題3) その他

杉山実行委員の提案から、本大会当日に前回トーナメント優勝の木本OBチームからの優勝旗返還をプログラムとして調整する方向で一致し、承認された。

以上で議案の審議が終了し、理事長により22:35に散会